

# KEYAK!

7月号

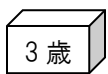
木の成長が早い！大事にしている鉢の樹木ならいいのですが、園をとりまくどうでもいような木ほどどんどん伸びます。去年切ったのに細いのが倍以上になって生えてきます。くやしい反面その生命力にはあっぱれです。酸素も産んでもらっていますしよしとしましよ。

子どもたちもぐんぐん成長・・・木のように身長ではないので目に見えてではないかもしれませんが、心身ともに育っていることと思います。

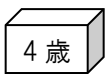
そのひとつに、特に年長さんなのですが、この頃何かにつけてみんなで一斉に声を出すのをよく耳にします。〇〇〇ありがとうやパトロールの時、交通安全の右左右信号青渡ります！に至るまで大きな声で一息で言い切る姿が目に見えて増えてきました。担任の先生の意図はもちろんあるのだと思いますが、その子どもたちの声は自信に満ち溢れているのを感じます。覚えた言葉に、その意味の理解に自信があるから大きな声を出せる。素敵で素晴らしいことだと思います。中少さんもまず先生が声を上げその雰囲気を作っているところでありましょう。私にはそれがみんなの「魔法の言葉」や「あいことば」にしか聞こえません。ひとつひとつ、確実に、彼らは何かを獲得しているに違いありません。ひとつで思い出しましたが、みんなが一斉に同じ声をあげているその直後に、一人だけ「真実はいつもひとつ！」と叫んでいる声があるのも聞き逃しませんよ。たしかに名探偵は一人いれば十分ですよ！

同じく声を合わせることのひとつに、皆で歌（合唱）を歌わなくなって久しいです。失ってしまった訳ではありませんが、その大切さに改めて気付かされると共に、私たちが保育の中において皆で歌うことって重要だと考えていたことが間違っていないのだと再確認できました。そろそろ、だんだん、こどもかいくらいまでにはできるのかな。子どもたちには歌って欲しいし大人のひとには聴いて欲しいと切に願っています。

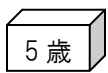
## 今月のねらい（育ってほしい姿や経験してほしいこと）



- ・ 自分で「やってみたい」という気持ちを持って、身の回りの始末など、自発的に取り組もうとする
- ・ 「入れて」「いいよ」などのやりとりの中で、友達と遊ぶ楽しさを知る
- ・ 水遊びやプールあそびを通して、開放感を味わう



- ・ 経験したことをイメージし、ごっこ遊びに取り入れようとする
- ・ 保育者や友達と一緒にいろいろな水遊びを楽しみ、開放感を味わう
- ・ みんなで使うものを大切に扱い、自分でできることをやってみようとする



- ・ 工夫して必要なものを作ったり、様々な表現を楽しむ
- ・ 友達の思いや自分とは違う意見があることに気づき、受け入れたり、遊びや活動の中に取り入れたりしようとする
- ・ グループごとに協力し、助け合い、励まし合って行動できる
- ・ テーマに沿って意見が言えたり、自分たちで1つの納得できる結論をだせる